資料 5

ボーリング柱状図

調査名　庁舎用地及びみんなのげんき広場造成　測量設計委託業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	高富町地内				北緯		
発注機関	瑞浪市役所			調査期間	平成 5年 7月 3日～ 5年 7月 6日		東経		
調査業者名	朝日土質株式会社 電話(0582-75-1061)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者 吉田 一彦	ボーリング責任者	安田 虎雄	
孔口標高	27.74m	角度	方向	地盤勾配		使用機種	試錐機	吉田 YBM-05D	ハンマー落下用具 トンビ
総掘進長	40.00m						エンジン	ヤンマー NS80	ポンプ 吉田 GP-5

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	27.34	0.40	0.40		表土	暗茶灰			腐植土、シルト質細砂よりなる。	7/3 0.40
1					砂混じりシルト	明灰		極軟～軟	含水多く、極めて軟質。 粘性は中位。 上部、未分解の腐植物多量混入する。 下部にかけて、砂分の混入やや多くなる。 砂は、細砂～微細砂。	
2										
3	23.84	3.50	3.90							
4					砂混じりシルト質細～中砂	暗緑灰		緩い	砂粒子ほぼ均等。 全体にシルト分の混入多い。 φ=2～10mmの角礫混入。	
5	22.74	1.10	5.00		シルト	暗茶灰		軟	含水中位で軟質。 粘性中位。 腐植物混入。	
	22.14	0.60	5.60		腐植土	黒褐		中位	含水やや少ない。 粘性低い。 圧縮性に富む。	
6	21.14	1.00	6.60							
7					砂質シルト	暗茶褐～暗褐灰		中位	含水中位～やや少ない。 全体に細砂～微細砂を混入する。 全体に有機質な部分多く、パサついている。 不規則に粘土や砂を薄く挟む。	
8										
9										
10	17.44	3.70	10.30							
11					浮石	淡黄灰～乳灰	極緩い～緩い		含水量多い。 砂～細粒土状を呈すものもあり、シルト混り砂礫状をなす。 礫は、φ=2～5mm主体。 φmax=30mm程度。 軟質であり、指圧で潰すことができる。	
12										
13										
14										
15	12.14	5.30	15.60							
16	11.14	1.00	16.60		細砂	淡灰	極密		砂粒径はやや不均等。 所々に、φ2～5mmの浮石を混入。	
17	10.64	0.50	17.10		砂質シルト	青灰			微細砂混入する。	
	9.94	0.70	17.80		砂	淡灰	極密		砂粒径やや不均等。 含水やや少ない。	
18					シルト混じり細砂	淡緑灰	中位～密		含水やや少ない。 砂は微細砂からなり、粒径はほぼ均等。 全体にシルト分混入。 やや凝灰質な部分あり。	
19										
20	7.74	2.20	20.00							
21					細砂	暗灰～淡灰～暗灰	中位～密		砂粒径ほぼ均等。 含水中位。 全体に若干の浮石混入する。 GL-21.00～21.60m間、特に浮石の混入多い。	
22										
23	4.74	3.00	23.00							
24					浮石混じり砂	暗灰～淡灰	中位		砂は細砂主体。 浮石はφ=2～5mmの細礫主体。 φmax=10mm程度。	
	3.04	1.70	24.70		シルト	明灰		極堅	含水中位で粘性中位。 一部に、φ2～10mmの礫混入。	
25	2.04	1.00	25.70							
26					腐植物混じりシルト	暗褐～暗茶褐		堅	含水中位。 粘性中位～やや低い。 全体に腐植物の混入多い。 所々に、木片の混入もみられる。 細砂～微細砂を若干混入する。	
27										
28	-2.06	4.10	29.80							
29					粘土	明青灰	中位		含水多く軟質。 粘性極めて強い。 均質で単調な土相を呈す。	
30	-4.26	2.20	32.00							
31					礫混じり粘土	淡茶褐	軟～硬		含水多く軟質。 粘性強い。 全体にφ=2～10mmの角礫混入する。 φmax=20mm程度。	
32										
33	-8.06	3.80	35.80							
34					砂岩（風化部）	黄灰～暗灰	極密		砂岩の風化部である。 岩相は細粒。 岩質は、全体には比較的硬質。 所々、やや軟質な部分あり。 全体に亀裂発達する。	
35										
36	-12.26	4.20	40.00							
37										
38										
39										
40										

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1			1/30	
1.45					
2.15	1	1		2/30	
2.45		2			
3.15	1	1	1	3/30	
3.45					
4.15	3	2	3	8/30	
4.45					
5.15	1	1	1	3/30	
5.45					
6.15	2	1	2	5/30	
6.45					
7.15	2	2	2	6/30	
7.45					
8.15	2	3	3	8/30	
8.45					
9.15	2	3	3	8/30	
9.45					
10.15	1	2	2	5/30	
10.45					
11.15	1	1	1	3/30	
11.45					
12.15	1	1	1	3/30	
12.45					
13.15	1	2	1	4/30	
13.45					
14.15	2	1	3	6/30	
14.45					
15.15	2	2	3	7/30	
15.45					
16.15	15	17	21	53/30	
16.45					
17.15	13	21	22	56/30	
17.45					
18.15	7	8	13	28/30	
18.45					
19.15	6	11	18	35/30	
19.45					
20.15	10	8	10	28/30	
20.45					
21.15	14	16	20	50/30	
21.45					
22.15	13	16	17	46/30	
22.45					
23.15	10	9	7	26/30	
23.45					
24.15	7	10	13	30/30	
24.45					
25.15	8	10	27	45/30	
25.45					
26.15	3	3	4	10/30	
26.45					
27.15	3	3	4	10/30	
27.45					
28.15	4	3	4	11/30	
28.45					
29.15	2	3	3	8/30	
29.45					
30.15	2	2	3	7/30	
30.45					
31.15	2	1	2	5/30	
31.45					
32.15	1	1	2	4/30	
32.45					
33.15	1	1	1	3/30	
33.45					
34.15	3	3	4	10/30	
34.45					
35.15	2	3	3	8/30	
35.45	60/5			60/5	
36.00					
36.05					
37.00	60/3			60/3	
37.03					
38.00	貫入不能			60/0	
38.00					
38.00	貫入不能			60/0	
38.00					
40.00	貫入不能			60/0	
40.00					

原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日